



五島地協

第41号
2017年6月8日(木)
〒853-0033 五島市木場町516-7
連合長崎五島地域協議会(五島地協)
発行責任者 高井良 芳行
TEL 0959-72-5749 FAX 0959-72-5749

sptr3t69@key.ocn.ne.jp

「連合長崎組織強化学習会」に参加！

「労働組合の今と

リーダーに求められるもの」をまなぶ！

5月26日(金)～27日(土)、
矢大樓 南館において「連合長
崎組織強化学習会」が開催さ
れ、連合五島地協から1名参
加しました。

今回の学習会の目的は①労働運動を牽引する役員が、改めて労働組合の必要性を認識し、労働運動を担うことの意味を実感する場にあること。
②役員＝リーダーとは何かを理解するとともに、リーダーの志を持つて主体的に運動課題を解決し、組織運営するための知識、スキルを習得する場にあること③グループワークを通じて、参加者間のネットワークを構築し、研修後も相互にコミュニケーションを図りながら、相互啓発できる関係を構築することでした。

講師の鹿野和彦氏は自己紹介のあと、「真ん中思考」について解説し、今回の研修の目的について話されました。

「紙の塔ゲーム」でグループのつながりを作った後、講義「労働組合の今とリーダーに求められるもの」を受けて実習①「リーダーとしての課題を整理してみよう」のテーマでグループワークを通して意見を出し合いました。また、実習②「理想のリーダー像を描いてみよう」ではオリジナルの「マインドマップ構造紙」を使って、あるべきリ

ーダー像をグループ単位で描く訓練をおこないました。その後、実習①と②で作成した模造紙をもとにグループ発表を行いました。

2日間を通じて非常に内容の濃い研修でした。拡大する格



差と貧困、そのような状況のなかで組織率は20%未満、しかし、ハローワーク利用者に聞くと80%の人が労働組合の必要性はあるという。労働組合の原点は仲間づくり。「つながり」を実感できる労働組合をつくるため研修で学んだことを実践していきたいと思う。

***「真ん中思考」とは**
【主体的に生きる、行動することを指した言葉。リーダーである以上、組織の真ん中に立ち、主体的に行動することが求められる。また、場の真ん中に立つて行動した方が自分の成長につながる、将来の自分についてもプラスになること】



クリーンキャン

ペーン実施

6月4日(日)クリーン
キャンペーンを行いました。

この活動は国際トライアスロン大会を前に街をきれいにし
て参加者をお迎えし、きれいなコースを走ってもらおうと
行ったもので、今回で13回を
数えます。

当日は、行事が重なり昨年より少ない参加人員となりましたが各単組から23名の組合員、家族が参加され約1時間の清掃を行いました。

当日は町内会の清掃も行われていましたが、マラソンコースにはたくさんさんの空き缶やゴミが散乱していました。

参加者協力でこのゴミもきれいに清掃され、ランナーが気持ちよく走れるコースになりました。



どう進める? 「働き方改革 実行計画」

「働き方改革実現会議」の議論を受け、3月28日、「働き方改革実行計画」が決定された。「実行計画」には、非正規労働者の処遇改善や長時間労働是正など、19の改革項目とロードマップが示されている。連合はどう評価し、どう進めていくのか。逢見事務局長の解説記事が月刊連合6月号に掲載されている。是非、参考にしていただきたい。

参考までに裏面に「働き方改革実行計画」Q&Aを掲載しました。